

第2回 湖西市バス運行評価改善委員会 会議録

日 時：平成28年11月2日（水）13時30分～16時00分

場 所：湖西市健康福祉センター3階特別会議室

出席者：

会 長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
副会長	鈴木 愛子	湖西市自治会連合会 住吉自治会長
委 員	土屋 勇夫	湖西市老人クラブ連合会
委 員	柴田 和利	湖西市商工会 事務局長
委 員	田中 明彦	新居町商工会 事務員
委 員	中野 義博	湖西市小中学校PTA連絡会 会長
委 員	吉原 博明	湖西市社会福祉協議会事務局次長代理
委 員	河邊 登	公募市民
オブザーバー	松本 翼(代)	中部運輸局静岡運輸支局 企画調整担当
オブザーバー	田所 奈保子	静岡県地域交通課 主事
事務局	新村 俊明	遠州鉄道(株)運輸業務部 課長
事務局	杉山 浩一	遠州タクシー(株) 営業部長
事務局	辻村 嗣直	浜松バス(株)支配人
事務局	小林 利幸	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	石田 裕之	湖西市 企画部 市民協働課 課長代理
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係

1 開 会

2 委員長挨拶

3 協議事項(1)平成28年度コーちゃんバスの評価について

<事務局>

資料2-1の説明

資料2-2 コーちゃんバス全般について説明

<委員長>

何か質問、意見はございますか。

<委員>

前回わかりにくかった“サービス水準の低下”がわかりやすくなってよい。

<委員>

資料2-2の修正案は“〇〇して下さい”といった表現になっていますが、誰が誰

に要求しているものですか。

<委員長>

評価改善委員会の意見として、公共交通会議、事務局に求めていくものです。

<委員>

10月の5日分のデータから、配布された10月中のデータに差し替えた方がいいと思います。

<事務局>

最新のデータに変更させていただきます。路線別のデータも同様に差し替えさせていただきます。

<事務局>

資料2-2 路線別評価2Pについて説明
(白須賀新居鷺津線、白須賀鷺津線)

<委員長>

白須賀鷺津線の前月からの減少が気になります。減少理由についてはどのように考えられますか。

<事務局>

白須賀鷺津線は、今まで発生していた遅延の解消のため、ルートの変更とバス停間時分を見直しました。その結果、便数が一往復分減少したことなどが原因の一つではないかと考えられます。

<委員長>

改善が必要な点に“利用実態の把握”を入れてはどうでしょうか。

<委員>

“利用実態の精査をして下さい”という形ではどうでしょうか。

<委員>

資料2-2全体に関してですが、“必要があると考える”や“検討していく必要があると考える”などの表現は何か意図があるのですか。

<事務局>

“検討”は直近に考えていかなければならない課題を意識した表現となっています。“必要があります”、“考えられます”といった表現は、現在課題として挙げられていますが、路線の再編や形成計画など、長期的な視点で考えるべきものなどに関しては“必要があります”などの表現にしています。語尾に関しては調整させていただきます。

<委員長>

“検討して下さい”といったやや強めの表現と、“必要があります”といったやや弱めの表現と理解してもらってよろしいでしょう。語尾については調整していきます。

白須賀新居鷺津線の「JA 白須賀支店での・・・」という表現がありますが、改善のポイントがわかっているなら“必要です”の表現でもいいのでは。

<事務局>

JA 白須賀支店での乗換えは、白須賀岡崎線が強く関わってきますが、白須賀岡崎線は、岡崎循環線と2路線を1台で運行していて、白須賀小学校の通学で利用されていることもあり、課題としてわかっているにもかかわらず時刻の変更などを行えません。

しかし、課題としては明らかになっているので、形成計画や路線の変更のタイミングを計りながら改善していかなければならないと考えているので“必要と考える”という表現にさせていただきました。

<事務局>

資料2-2 路線別評価3Pについて説明
(白須賀岡崎線、岡崎循環線、岡崎鷺津線)

<委員長>

白須賀岡崎線の“連動した路線改善を図る必要があります”は先程の説明から考えると“必要があると考える”ですね。

また、岡崎循環線の語尾を考えますと、“早急に”は削除すべきではないでしょうか。

<事務局>

地区の意見やニーズを踏まえて考えていきたいので、“早急に”を取らせていただきます。

<事務局>

資料2-2 路線別評価4Pについて説明
(知波田鷺津線、鷺津循環線、浜名線)

<委員長>

自主運行バスに関して、運賃制度に関しては単純に“自主運行バスの運賃制度が必要です”の方がわかりやすくありませんか。地域公共交通会議で別々の運賃体系で論じることは考えられないので、公共交通全体の運賃制度を考えていくということでしょう。

<委員>

運賃制度改正の理由として、不公平感以外にありますか？不公平感だけを理由にしない方がいいと思います。

<委員長>

そうですね。色々な理由があるだろうが、“不公平感“という単語は削除しましょう。この運賃体系は過渡期であったので仕方ないところがあったが、今後考えていかなくてははいけません。ここの表現は“自主運行バスの運賃制度の検討が必要と考えます”と修正しましょう。

<事務局>

資料2-2 5Pについて説明
(利用促進に関する評価、その他)

<委員>

利用促進の“新居地区の祭り”とあるが、旅籠祭りは“泉町発展会”の主催する関所付近の祭りなので、“新居関所の～”など、修正をお願いします。

<委員>

利用促進の“利用促進策を実施したことが、必ずしも利用者増に結びついていない。”となっているが、“結びついていないため、効果を検証する必要があると考えます”などとしたらどうでしょうか。

<事務局>

“もう少し細やかな分析が必要です”など、修正させていただきます。

<事業者>

“通勤のための定期券、回数券に～”とあるが、通勤のために限定しているわけではないので“既存の定期券、回数券に～”と修正した方がよいと思います。

<委員>

吉原委員から、提出だけでよいのかという指摘があるので、どう考えているのか教えて下さい。また、土日運行の話がありますが、実現可能性があるかはわかりませんが、現時点でどう考えているか教えて下さい。

<事務局>

当初バス事業者さんとのミーティングなど実施していましたが、最近では実施していなかったため、現在は情報交換、収集に関して新しい仕組みを作っております。ミーティングなどは欠かせないと思っていますので、今後の課題として取り組んでいきます。

また、土日運行に関しては、運行して欲しいという思いは理解できますが、実際運行したら乗っていただけるのかという課題がございます。

土日に運行が必要な地区があると思いますが、外からの誘客をにらんだ土日のバスや、大会などでアメニティプラザへ来る学生、選手のためのバスなどの意見があり、考えてきたところですが、費用を試算してみると、現在の1、2倍若しくはそれ以上の費用ということで、検討が必要な課題だと認識しています。

<委員長>

評価できる点に関しては、“定期的な会合を含めてより一層の連携を深める”などとすればどうでしょうか。

<委員>

土日運行を実施する場合の費用対効果の分析はどの程度していますか。

<委員>

市民は費用対効果については考えていないと思います。文章については“検討する必要があると考える”にすれば、少し具体的に考えて欲しいという要望になるのではないかと。

<委員長>

一般的に土日は利用者が減少します。土日運行は“～内容、運行について検討を考える”という表現にしたらどうでしょうか。

老人クラブのイベントは土日に限りませんよね。

<委員>

敬老会など、老人クラブのイベントはどちらかというと平日が多いです。子供に係るイベントは自然と土日に調整します。

<委員>

小中学生は、土日にアメニティプラザに行く公共交通手段があまりありません。事業性を考えてみると、例えば大会などは朝、晩だけなので、その時間帯だけ走らせるなど費用を抑える方法もあるのではないかと思います。

<委員>

最近実施している地区別グループワークでは、土日運行に関して何か意見がありましたか。

<事務局>

土日運行の要望は、一つの意見としては出ていますが、費用対効果までは論じていません。

<委員長>

聞き方として、「何か意見ないですか？」と聞けば「土日運行して欲しい」となると思います。実際運行すると、私が関わっている市町でも平日の6割くらいの乗車人員といったところですよ。土日の運行があった方がいいのはわかりますが、まずは平日の利用者増があつての、土日への運行拡大というステップがあると思いますので、表現については考えましょう。

<事務局>

資料2-2 5Pについて説明
(遠鉄バス浜名線)

<事業者>

全体の評価書の中で、遠州鉄道という事業者路線も入っているので、出来れば参考資料という取り扱いで、上司に関係資料として持っていきたいと思います。湖西市の主体で運営しているバスとは異なるということは、ご理解頂きたいと思います。

バスの役割も大分変わっており、以前よりもコーちゃんバスの路線が充実したこともあり、病院利用やJRへの接続も、ここ数年でコーちゃんバスへ移行したり、電車、自家用車、自転車の利用増で、浜名線の事業性としては厳しくなっております。

利用促進を進めていく必要はあると思うので、この評価はその通りだと思います。

民間路線では、どうしても事業性というのが一番最優先されてしまうので、コーちゃんバスとは視点が違ってくるということで、参考資料とさせて頂けたらと思います。

<委員長>

参考資料という話ですが、そうだとするとここでの議論がおかしくなりますね。だめとかいいということではなくて、少しでも良い仕組みを作っていこうという意味で評価委員会があり、形成計画の中でも一緒に公共交通を考えていこうということで進んでいます。

湖西市全体の公共交通の形成計画を作ろうということで、私はこの場でも、天浜線の状況さえも踏まえて考えていかなければならないと思っています。

事業性は理解できるが、この委員会は改善提案によって、利用者が増えてくれることを願っているので、民間路線だから別だということではないということを理解して頂きたい。

通勤、通学も入っていますが“要因分析”を“要因の”としたらどうでしょうか。

例えば遠鉄の路線は新居も通っているので、新居地区などの利用促進で協力体制を築けないでしょうか。

事業者との会合や打合せで、情報交換の場を作っていくのがとても大切なので、遠州鉄道ともそういう場を作っていけたらと思います。文章は少し考えさせて下さい。

<事業者>

利用促進などの協力は、できる範囲でさせて頂きます。

<委員長>

情報交換などの場は、市などと一体となってやってもらいたいと思いますので、その点については追加していくということで、整理しましょう。

3 協議事項(2)平成28年度コーちゃんバスの改善提案について

<事務局>

資料3について説明

<委員長>

来年度の改善提案に関しては、皆様のお力を借りることになると思います。改善提案に関して、土日運行のことや、他に意見がありましたら、事務局へ言ってもらいたいと思います。また、今日のご意見をもとに、報告書(案)という形で皆様に修正点などを委員の皆様にお諮りしますのでよろしくお願ひします。

質問等無ければ、事務局にお返しします。

<事務局>

次回の会議は、12月16日(金)湖西市民活動センターで13時半から行います。開催通知は後日郵送しますので、日程調整をお願いします。

以上で第2回湖西市バス運行評価改善委員会を閉会します。

以上